

PRESS RELEASE

2025年6月30日
株式会社UPDATER

Jリーグクラブ 水戸ホーリーホックが挑む、 地域創生×スポーツ×再エネのGXモデルに協力

耕作地を活用したソーラーシェアリング発電所から地域施設へ電力供給

社会課題をオモシロく解決する株式会社UPDATER（所在地：東京都世田谷区、代表取締役：大石英司）が運営する脱炭素プラットフォーム「みんな電力」は、株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック（代表取締役社長：小島耕、以下「水戸ホーリーホック」）の新規事業「GXプロジェクト」の一環として、本日6月30日（月）に落成を迎えたソーラーシェアリング※の発電所「GRASS ROOTS FARM 太陽光発電所」からの電力を、地域の「道の駅かつら」「物産センター山桜」へ、コーポレートPPA方式にて供給開始したことをお知らせいたします。

水戸ホーリーホックのGXプロジェクトによるソーラーシェアリング事業は、茨城県東茨城郡城里町の耕作放棄地約2,000㎡を活用した農業と発電の両立による再エネ供給モデルです。地域・スポーツ・エネルギーが連携するGXモデルの実証として、持続可能な地域社会づくりへの一歩となっています。

*ソーラーシェアリング：農地に太陽光発電パネルを設置して発電する取り組み。太陽光を作物と発電でシェアすることから、ソーラーシェアリングとも呼ばれています。パネル設置にあたっては地上権の賃借料などを支払うため、農家の安定収入につながり、持続可能な農業の実現に貢献。地域社会や経済の維持にもつながると期待されています。



背景・意義

UPDATER（みんな電力）は、再生可能エネルギーの普及やSXサービスの提供を通じて、多様な社会課題の解決に取り組んできました。なかでもソーラーシェアリングは、脱炭素のみならず、農業の持続可能性、地域経済の再生、エネルギーの地産地消を同時に実現できる次世代インフラとして、私たちが最も注力している領域の一つです。

これまでUPDATERは、垂直設置型パネルや可動式架台といった先進技術の導入をはじめ、企業・自治体と連携したモデル事業など、全国各地でソーラーシェアリングによる脱炭素と地域創生の実証を積み重ねてきました。さらに、発電所の調達基準を独自に厳格化し、優良な設備には買電単価を上乗せするなど、ソーラーシェアリングのような質の高い発電所の普及を目指した取り組みも続けています。

今回の水戸ホーリーホック「GXプロジェクト」は、農業、再エネ、障がい者支援、スポーツといった社会的テーマが重なり合う先進的な事例です。UPDATERは、単なる電力提供者にとどまらず、ソーラーシェアリングを広めていく立場としてこのような取り組みに積極的にに関わり、その価値を全国に広めていきたいと考えております。

私たちは今後も、ソーラーシェアリングの最前線で、多様なパートナーとともに、脱炭素社会と地域共生の実現に挑み続けます。

取り組みの概要

本取り組みでは、UPDATERがコーポレートPPA契約を通じてソーラーシェアリング設備にて発電された再エネ電力を買電し、地域施設へ地産地消の形で供給します。スポーツクラブ発の電源開発としては先進的なモデルとなります。

【ソーラーシェアリング発電所について】



発電署名：GRASS ROOTS FARM 太陽光発電所

所有者：株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック

所在地：茨城県東茨城郡城里町磯野 248

事業内容：ソーラーシェアリング（農業と太陽光発電の両立）

耕作地：将来的に大豆の耕作を目指す

対象農地：約2,000㎡（耕作放棄地を活用）

発電量：年間10万kWh（見込）※供給先2施設の3割程度

供給先：「道の駅かつら」「物産センター山桜」（いずれも城里町内）

備考：電力の不足分は「みんな電力」より再生可能エネルギー由来の電力を供給します



▲「道の駅かつら（左）」「物産センター山桜（右）」

担当者コメント

株式会社UPDATER

SXコンサル&イノベーション本部 スポーツSX担当

菊池斗己

今回の水戸ホーリーホック様のGXプロジェクトに携われたことを、大変うれしく思います。この取り組みは、再エネを通じた地域循環の先進的なモデルであり、スポーツとエネルギーが手を携えることで広がる新しい可能性を感じています。ぜひ、多くの方に供給先である「道の駅かつら」「物産センター山桜」に足を運んでいただき地元の野菜と共に地元の電気を感じて頂ければと思います。今後も水戸ホーリーホック様との連携を深めながら、同様の取り組みを広げていきたいと思っています。

株式会社UPDATERについて

2021年10月1日にみんな電力株式会社より社名変更。ソーシャル・アップデート・カンパニーとして、法人・個人向けにSXサービスを提供する。独自の特許ブロックチェーン技術を活用し、世界で初めて電力トレーサビリティを商用化した再エネ事業「みんな電力」は、国内トップクラスのプラットフォームとなっている。「顔の見えるライフスタイル」の実現のため、ウェルビーイング事業「みんなワークス」、エシカル調達事業「TADORi」などを展開。第4回ジャパンSDGsアワード内閣総理大臣賞、2021年度 NIKKEI 脱炭素アワードにおいてプロジェクト部門大賞など受賞歴多数。

株式会社UPDATER 会社概要

所在地：東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル8F

代表取締役：大石 英司

設立：2011年5月25日

資本金：14億497万8千円（資本準備金：21億4217万8千円）※2025年3月31日現在

事業内容：脱炭素事業「みんな電力」ほかウェルビーイング、生物多様性等のSXサービスを展開

コーポレートサイト：<https://www.updater.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社UPDATER 戦略広報チーム（豊島・上田）

TEL：03-6805-2228（平日11:00～15:00）

E-mail：pr@minden.co.jp